

(様式1)

平成31年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 079	提案機関名 横須賀市東部漁業協同組合
要望問題名 ナマコの資源調査	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 横須賀市東部漁協では、ナマコは多くの組合員が利用する最重要資源として利用されてきた。しかし近年、ナマコ資源に大きな減少がみられ、漁場によっては今後の利用が危ぶまれている。 水産技術センターの指導などにより当漁協では組合員による資源管理の意識が高まり、操業期間を厳しくする取り組みで資源状況が落ち着いてきていると思われる。 今後とも、ナマコ資源に関する調査及び報告会を要望する。	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	水産技術センター	担当部所	栽培推進部
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合) 東京湾の重要水産資源の資源構造の解明			
対応の内容等 これまで取組んでこられた操業期間の短縮などの効果もあって、減少傾向にあったナマコの漁獲量は平成30年度には微増しています。資源管理の取組の効果や資源評価に必要な標本船野帳データの重要性を理解していただくためにも、今後もナマコ資源に関する調査及び報告会を継続して実施させていただきます。			
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			